平成30年度　事務事業評価シート

事務事業名	健康学習	所管	健康部 保健サービス課

事務事業の概要

行政計画	事業NO. 151	計画事業名	自主的健康づくりの支援
長期総合計画体系	［基本目標］Ⅲ−1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり ［小　　柱］（1）区民の主体的な健康づくりの支援 ［施　　策］①生活習慣病の予防	事業の開始・終了年度	［事業開始］　平成　9　年度 ［終了予定］　−　年度
根拠法令等	法令（義務）	〔法令等名〕	地域保健法第1・2・6条、母子保健法第9条、健康増進法第17条、保健事業関係法令
事業対象	直接の対象　：一般区民 最終的な対象：同上		
事業目的	区民の主体的な健康づくりの取り組みへの支援と健康づくりの普及啓発を行うことで、生涯にわたりより良い生活習慣を身につけることを支援する。		
事業内容［２９年度実績］	・行政や地域住民が主催の健康学習会の開催（母子健康学習　69回（延参加人数2,357人）、成人健康学習　7回（延参加人数98人）、区民のための健康教室　3回（延参加人数　56人） ・健康づくりの啓発（リーフレット等の配布）		
委託の有無	なし	委託内容	なし
補助金の有無	なし		

事務事業の実績

種　別	指標の名称	単位	３１年度	２７年度	２８年度	２９年度		
			目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
活動指標	健康学習会の開催	回	90	95	98	79	90	87.8%
成果指標	健康学習会の参加者数	人	2,500	2,790	2,622	2,511	2,600	96.6%

		２７年度	２８年度	２９年度
決算額　（単位：千円）		552	560	566
事務事業コスト（単位：千円）	人にかかるコスト（人件費など）	9,865	4,411	4,609
	物にかかるコスト（物件費・維持補修費）	144	178	205
	その他のコスト（扶助費・補助費など）	408	382	362
	総経費	10,417	4,971	5,176
財源項目（単位：千円）	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）	0	0	0
	その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）	0	0	0
	一般財源（区負担額）	10,417	4,971	5,176

前回評価から29年度に改善した事項	保健師が実施する母子健康学習は託児付の講座を増やし、保護者が参加しやすく学習に集中できるようにした。

評価の視点

	評価	評価の理由
必要性	3	育児支援や健康づくり等、区が様々な目的をもって地域に対し参加しやすい形で健康学習会を開催することは重要である。
効率性	3	主に、保健所の保健師、歯科衛生士が指導することでコストを低く抑えられている。保健師が実施する母子健康学習は児童館、子ども家庭支援センター等、親子が訪れる関係機関や育児相談の場で周知しており、育児に悩みを持つ保護者の呼び込みができている。
手段の適切性	4	身近に無料で参加できる講座があることで、広く区民への健康づくり普及啓発が図られている。歯科衛生士が実施する母子健康学習では、保育園・こども園の保育士・看護師向け講習会を実施し、指導者側へ歯科保健の知識を伝えることで園児の健康づくりにつなげている。
目的達成度	3	28年度まで台東保健所実施のがん検診時にがんの健康学習を行っていたが、29年度から医療機関での委託実施となったため、機会が減少したものの、区民のニーズや健康課題に対応した健康学習会を実施し多くの方々にご参加いただいている。

［総合評価］※上記４つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。

生活習慣病予防、歯科保健習慣の習得、育児支援等さまざまな目的をもって、託児付きの講座等、保護者が参加しやすい形で開催することには意義がある。健康づくりのために自分自身が主体的に学習することで、健康に対する意識啓発になっている。

今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
維持	